

第十一回与謝野町蕪村顕彰全国俳句大会

当日投句の部 入賞作品

令和四年十一月二十七日 於 与謝野町立生涯学習センター知遊館

与謝野町俳句大賞／塩見恵介特選賞／田中春生特選賞／山内利男特選賞

空といふ大きな籠に柿たわわ

京都府京丹後市

藤田泰弘

山田佳乃特選賞

大江山よりの水引き芋洗ふ

京都府与謝野町

市田純子

岩城久治特選賞

綿虫を掴まんとして少女跳ね

京都府舞鶴市

荻羊右子

南うみを特選賞

踝のとらえていたる寒の入り

京都府宮津市

堀江明ゑ

福井久生特選賞

子らの夢のせて空へと草の絮

京都府与謝野町

荻野満枝

西村洋平特選賞

初鴨を迎へ機音弾む朝

京都府与謝野町

糸井範子

白数康弘特選賞

機音のありし三和土のかまどうま

京都府舞鶴市

新庄富美

当日投句選者別秀逸作品

塩見恵介選

天高し蕪村の里もドローン飛ぶ
橋立の蒔蒨色に時雨けり
箬七つ門に並べて小豆干す
男たちの井戸端会議村小春
秋の宿私を睨む縫いぐるみ
色の濃きベンに替えたる暮の秋
百才時代芒ヶ原へ仲間入り
機音の響く小村の菊日和
正絹を今も織る町鳥渡る
大江山よりの水引き芋洗ふ
綿虫を掴まんとして少女跳ね
点と丸のみの似顔絵蕪村の忌
閑東煮知らんけどなと話終ふ
除夜の鐘加悦か算所か後野か
バスを待つ影の溶けゆく初時雨

山田佳乃選

句碑巡り近づく丹後しぐれかな
男たちの井戸端会議村小春
機音のありし三和土のかまどうま
大内のつづら折り道枯れ葉道
初鴨を迎へ機音弾む朝
正絹を今も織る町鳥渡る
立冬の雨戸するりと開きにけり
坂がかかる大内公園散紅葉
綿虫を掴まんとして少女跳ね
点と丸のみの似顔絵蕪村の忌
縁ありて与謝に嫁ぎて小春の日
除夜の鐘加悦か算所か後野か
指笛に獵犬走り出す荒野
遠山の浮立つごとく時雨れけり
箬七つ門に並べて小豆干す
田中春生選

田中春生選

橋立の蒔蒨色に時雨けり
箬七つ門に並べて小豆干す
男たちの井戸端会議村小春
機音のありし三和土のかまどうま
色の濃きベンに替えたる暮の秋
初鴨を迎へ機音弾む朝
機音を響く小村の菊日和
正絹を今も織る町鳥渡る
立冬の雨戸するりと開きにけり
大江山よりの水引き芋洗ふ
遠山の浮立つごとく時雨れけり
綿虫を掴まんとして少女跳ね
言祝の眉濃くひき来返り花
閑東煮知らんけどなと話終ふ
除夜の鐘加悦か算所か後野か
岩城久治選

岩城久治選

橋立の蒔蒨色に時雨けり
箬七つ門に並べて小豆干す
大江嶺の里の景なる木守柿
機音のありし三和土のかまどうま
秋の宿私を睨む縫いぐるみ
百歳を目指し寒九の水を飲む
沢蟹のブラットホーム闊歩かな
嫁ぎ郷千年椿に老姉誘い
機音の響く小村の菊日和
正絹を今も織る町鳥渡る
今も尚詠めるしあわせ素十の忌
ふるさとの棚田の雨の草紅葉
大江山よりの水引き芋洗ふ
点と丸のみの似顔絵蕪村の忌
指笛に獵犬走り出す荒野
南うみを選

南うみを選

橋立の蒔蒨色に時雨けり
山茶花やしかと向かひず
早朝の寒さ静かに集ふ鯉
子らの夢のせて空へと草の絮
百歳を目指し寒九の水を飲む
初鴨を迎へ機音弾む朝
正絹を今も織る町鳥渡る
立冬の雨戸するりと開きにけり
遠山の浮立つごとく時雨れけり

細井ひろこ
間谷雅代
川嶋てるこ
坂野祐子
さぼてん
尾藤静子
芦田伊津子
天野逸風子
市野尚志
荖羊右子
芦田美幸
詫間えりこ
よさの四季
佐野瑞季

木幡嘉子
坂野祐子
新庄富美
三宅美千子
糸井範子
瀬野尚志
浅奥尚司
坂田民江
荖羊右子
芦田美幸
足立みつ子
よさの四季
上林ふらと
谷田明日香
川嶋てるこ

間谷雅代
川嶋てるこ
坂野祐子
新庄富美
尾藤静子
糸井範子
天野逸風子
瀬野尚志
浅奥尚司
市田純子
谷田明日香
荖羊右子
大山文子
詫間えりこ
よさの四季

間谷雅代
高岡茂代
尾崎恵美子
堀口酒醉
荖野満枝
白数宏子
糸井範子
瀬野尚志
浅奥尚司
谷田明日香

南うみを選

秀逸は句・作者のみ記載しております

綿虫を掴まんとして少女跳ね
言祝の眉濃くひき来返り花
閑東煮知らんけどなと話終ふ
指笛に獵犬走り出す荒野
句碑巡り近づく丹後しぐれかな
山内利男選

橋立の蒔蒨色に時雨けり
橋立の横一の松色変へず
男たちの井戸端会議村小春
機音のありし三和土のかまどうま
秋の宿私を睨む縫いぐるみ
百歳を目指し寒九の水を飲む
色の濃きベンに替えたる暮の秋
菊切れば妣のぬくみの花飲
蹠のとらえていたる寒の入り
百才時代芒ヶ原へ仲間入り
遠山の浮立つごとく時雨れけり
風に散る錦木という名の紅葉
言祝の眉濃くひき来返り花
閑東煮知らんけどなと話終ふ
バスを待つ影の溶けゆく初時雨
福井久生選

福井久生選

天高し蕪村の里もドローン飛ぶ
橋立の蒔蒨色に時雨けり
箬七つ門に並べて小豆干す
大江嶺の里の景なる木守柿
穉田や絹織りの音子守唄
柚子挽ぎし手に残る香の今もなほ
百歳を目指し寒九の水を飲む
初鴨を迎へ機音弾む朝
機音を響く小村の菊日和
立冬の雨戸するりと開きにけり
八十路へと一歩一歩の夫の秋
遠山の浮立つごとく時雨れけり
冬もみじ八十路一歩を踏み出しぬ
綿虫を掴まんとして少女跳ね
指笛に獵犬走り出す荒野
西村洋平選

西村洋平選

天高し蕪村の里もドローン飛ぶ
橋立の蒔蒨色に時雨けり
箬七つ門に並べて小豆干す
句碑巡り近づく丹後しぐれかな
男たちの井戸端会議村小春
百歳を目指し寒九の水を飲む
嫁ぎ郷千年椿に老姉誘い
機音の響く小村の菊日和
正絹を今も織る町鳥渡る
今も尚詠めるしあわせ素十の忌
大江山よりの水引き芋洗ふ
八十路へと一歩一歩の夫の秋
遠山の浮立つごとく時雨れけり
縁ありて与謝に嫁ぎて小春の日
除夜の鐘加悦か算所か後野か
白数康弘選

白数康弘選

橋立の蒔蒨色に時雨けり
箬七つ門に並べて小豆干す
大江嶺の里の景なる木守柿
子らの夢のせて空へと草の絮
百歳を目指し寒九の水を飲む
初鴨を迎へ機音弾む朝
機音を響く小村の菊日和
立冬の雨戸するりと開きにけり
空といふ大きな籠に柿たわわ
大江山よりの水引き芋洗ふ
縁ありて与謝に嫁ぎて小春の日
ふるさとの棚田の雨の草紅葉
柚子挽ぎし手に残る香の今もなほ
夕映えや赤あかあかと紅葉燃ゆ
大内のつづら折り道枯れ葉道

荖羊右子
大山文子
詫間えりこ
上林ふらと
木幡嘉子

間谷雅代
尾崎恵美子
坂野祐子
新庄富美
さぼてん
白数宏子
尾藤静子
高橋智子
堀江明彥
芦田伊津子
谷田明日香
杉本紀子
大山文子
詫間えりこ
佐野瑞季

細井ひろこ
間谷雅代
川嶋てるこ
木幡嘉子
坂野祐子
白数宏子
前田昭夫
糸井範子
天野逸風子
浅奥尚司
藤原八千代
谷田明日香
杉本美寿津
荖羊右子
上林ふらと

間谷雅代
川嶋てるこ
大江清子
荖野満枝
白数宏子
糸井範子
天野逸風子
浅奥尚司
藤田泰弘
市田純子
足立みつ子
谷田明日香
よさの四季

間谷雅代
高岡茂代
尾崎恵美子
堀口酒醉
荖野満枝
白数宏子
糸井範子
瀬野尚志
浅奥尚司
谷田明日香
三宅美千子